

平成29年度取組状況

ものづくり工学科 工学コース 助教 稲毛 契

取組状況	
教育	<p>1. 第3学年の電気電子工学実験実習II 実験取り組みの姿勢、ワープロソフトを利用したレポート作成についてグループワークを実施した。前期開始3週間はグループワークによる学生自身の実験プランの構築させ、実験の目的やねらいを受講側ではなく指導者側の視点を体験させた。また実験プランは実際に実施し、学生間での報告書チェック、グループで1通の模範レポート作成を行なった。</p> <p>後期開始5週間は、コース教員の石崎准教授、小林教授、山本教授、実験担当教員と協力し学外から募ったテーマについてデザイン思考の授業を実施した。</p> <p>2. 第2学年の電気回路I 授業毎に授業内容をA4一枚に纏めさせるチェックシートを導入し、各学生の授業振り返りを促すと共に理解度の把握に努めた。質問欄を設けることで授業中に質問できない学生の理解できていない箇所の把握を行い、理解しづらい点の洗い出しと、講義内容の進捗管理に用いた。</p> <p>講義、練習問題、演習問題、再度の講義という流れを作り成績が低かった学生の一部について理解度向上が確認できた。また、タブレットによるグラフ描画と数式を併せて説明する工夫をした。</p>
研究	<p>1. 競争的資金獲得 科学研究費助成事業 若手研究(B)採択</p> <p>2. IEEE Letter採録(共著:連名2番目、査読有) K. Sato, K. Inage and T. Fujii, "Frequency correlation of shadowing over TV bands in suburban area," Electron. Lett., vol.54 no.1, pp.6-8, Jan. 2018.</p> <p>3. 査読付き国際会議に論文(共著:連名2番目)が採択 K. Sato, K. Inage and T. Fujii, "Compensation of survivorship bias in path loss modeling," Proc. IEEE PIMRC 2017, Canada, Oct, 2017.</p> <p>4. 査読無し国際ワークショップ(共著:連名3番目) K. Onose, K. Sato, K. Inage and T. Fujii, "Experimental verification of frequency-correlation for radio environment recognition using crowd sensing," Proc. SmartCom 2017, Italy, Oct. 2017.</p> <p>5. 国内研究会発表(共著:連名4番目) 伊藤, 小野瀬, 佐藤, 稲毛, 藤井, "クラウドセンシングによる無線環境データベース精度向上のためのキャリブレーション手法," 信学技報, SR2017-103, Jan. 2018.</p> <p>6. 国内研究会発表(共著:筆頭著者、研究奨励賞を受賞) 稲毛, 佐藤, 藤井, "自己組織化マップを用いた実観測型電波環境データベースの精度向上に関する検討," 信学技報, SR2017-1, May 2017.</p> <p>7. 国内研究会発表(共著:連名2番目) 中野, 稲毛, "IEEE 802.11 無線LANにおける後続起動アクセスポイントを考慮した適応チャネル選択," 信学技報, RCS2017-45, May 2017.</p>

社会貢献	<ol style="list-style-type: none">1. 国際会議 APCG の Technical Program Committeeメンバー2. 技術相談1件3. 学校説明会のコース説明員4. 体験入学講師
------	--